






整理番号	HT27258	分野	生物・医歯薬学	(キーワード)	マウス、遺伝子組換え
------	---------	----	---------	---------	------------

## 高知大学

### ひらめき☆遺伝子☆組換えマウス ～医学研究の現場をのぞいてみよう！～

先生(代表者)	前田 長正(まえだ ながまさ) 医療学系臨床医学部門・教授				
自己紹介	<p>私たちは、臍帯血幹細胞による脳性麻痺改善メカニズムを解明しようとしています。メカニズム解明によって、将来的には脳性麻痺だけでなく他の脳疾患、そして他の臓器の治療に発展させたいと考えています。</p> <p>是非、HPにアクセスしてみてください。</p> <p><a href="http://www.kochi-ms.ac.jp/~cbsct/index.html">http://www.kochi-ms.ac.jp/~cbsct/index.html</a></p> 				
開催日時・ 主な募集対象	平成 27 年 7 月 25 日(土)	(対象)	高校生	(人数)	20 名
集合場所・時間	高知大学 医学部 大学院棟セミナー室		(集合時間)	8:45	
開催会場 (集合場所)	高知大学医学部(岡豊キャンパス) 住所: 〒783-8085 高知県南国市岡豊町小蓮 アクセスマップ: <a href="http://www.kochi-ms.ac.jp/~ct_ila/access-map.html">http://www.kochi-ms.ac.jp/~ct_ila/access-map.html</a>				
<b>内 容</b>					
<p>日本国内では、高知大学が初めて臍帯血を用いた脳性麻痺児の機能改善に向けた臨床研究を開始しました。そして、私たちはいま、機能改善のメカニズムの解明、治療方法の改善のために、マウスを用いて脳性麻痺モデルを作成し、日夜研究に励んでいます。</p> <p>このように、生命医学研究においては、実験用の動物としてネズミ(マウス)が多く使われています。</p> <p><b>なぜマウスが使われるの？</b></p> <p><b>テレビや新聞で耳にする「遺伝子組換えマウス」ってどんなの？</b></p> <p>そんな疑問や興味に応えます！</p> <p>今回のプログラムでは、実験用マウスの存在をまず知ってもらい、さらに、新聞でもよく取り上げられる「遺伝子組換えマウス」とは何かについて、自分の眼で見て、触れて、体験する学習プログラムになっています。当日は講義と実習を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育環境の設備見学や、遺伝子組換えマウス(光るマウス、肥満マウスなど)を観察。</li> <li>・マウスの卵子と精子を用いて体外受精を行い、受精・発生・成長や生殖臓器について学ぶ。</li> </ul>					
					
・「科研費について」講義中		・受精卵へのインジェクション体験		・光るマウスの観察	



・顕微鏡を使って観察中



・顕微鏡を使って観察中



・未来博士号授与

近年、「遺伝子組換えマウス」を作製・繁殖させる技術は、医学研究を大きく発展させることになりました。これらの最先端の技術を自分たちで体験し、実際にメディアで流れる出来事(ニュース)を身近に感じて欲しいです。

今回の実習では、実際に顕微鏡を覗いてみたり、普段使えないような実験器具を使用したりすることで、研究の面白さや医学の奥深さに触れることが出来ることでしょう。



昨年の集合写真→

平成26年度 日本学術振興会から委託を受けたサイエンス・ようこそ大学の研究室へようこそ  
「ひらめき☆遺伝子☆組換えマウス～医学研究の現場をのぞいてみよう～」  
2014.7.26(土) 鳥取大学 総合研究センター生命・機動物種部門 動物資源開発分野

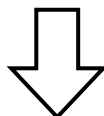
スケジュール		持ち物
8:45-9:00	受付(医学部大学院棟セミナー室集合)	筆記用具
9:00-9:30	開講式(挨拶、科研費の説明、日程説明、注意事項、スタッフ紹介)	<b>特記事項</b> 下記の条件が必要です。 ①動物アレルギーのある方は参加を控えてください。 ②生体・臓器を扱う実習が含まれますので、参加にあたっては保護者及び受講者本人の同意が必要です。 ③自宅と大学の往復道中については、保護者及び受講者本人の責任のもとに行動して下さい。
9:30-10:10	講義「動物実験とは」「実験動物としてのマウス」(講師:津田雅之)	
10:10-12:00	動物施設見学(飼育環境、マウスの成長、遺伝子組換えマウス観察)	
12:00-13:00	昼食(お弁当有り。教員等と一緒に。)	
13:00-14:45	精巣・卵巣の臓器観察、体外受精	
14:45-16:30	受精卵(1細胞期～胚盤胞)の観察、受精卵移植体験、精巣・卵巣の組織観察	
16:30-17:30	クッキータイム(お菓子を食べながら質疑応答、ディスカッション)	
17:30-18:00	修了式(アンケート記入、未来博士号授与)	
18:00	終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	高知大学総合研究センター生命・機能物質部門 動物資源開発分野 事務担当：池本
住所：	〒781-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
TEL 番号：	088-880-2435
FAX 番号：	088-880-2435
E-mail：	src2@kochi-u.ac.jp
申込締切日：	平成 27 年 7 月 3 日(金)17時まで

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
前田 長正	H24-26	挑戦的萌芽研究	24659733	ヒト臍帯血幹細胞の機能解析と脳性麻痺治療への臨床応用



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。